

みつぎ便り

110号
11月号

板橋区役所みどりと公園課の花づくりグループと
エコポリスセンターの環境観察員地域自主活動グループに
所属しているボランティア団体「見次の会」です

平成27年11月1日 <http://itbs-ecopo.jp/projects/environsurvey/2013/000253.htm>

サザンカ（山茶花）

見次公園の前野中央通り寄りの花壇片隅の複数のサザンカの木に白、薄紅色の花が咲いています。

この花を見ると、「山茶花、山茶花咲いた道、焚き火だ焚き火だ、落ち葉焚き…」という童謡を自然に歌いたくなります。

サザンカはツバキ科の常緑広葉樹で日本特産種。自生種は白花、園芸品種には赤やピンク色などが多くあり、八重咲もあります。

花は十月十二月、秋風が立つ時分から真冬まで咲きます。花びらがばらばらと散り地面が美しく飾られる、まさに冬の花です。葉は三〜七cmで全体がやや反り返り、縁にぎざぎざがあり、葉の柄などに毛が多くあります。

小説家の幸田文さんは随筆に、「十二月は色の消える月だが、この花はわずかに堪えて白く、うす紅に、一重に八重に咲く。山茶花を飾ると平安におちつく」と書いています。

今年も富士山の初冠雪便りが届きました。深まる秋の一日をお楽しみください。
(兼)



オキザリス

道端でよく見かけるカタバミの仲間で、その種類はとても多く、黄、白、赤、紫等と、色はまさしく色々あります。原産地は世界各地にあり、咲く時期は、種類や環境により、一年中、ど



こかで見る事ができます。見次公園には、池の東側の花壇の中程に、ひっそりと咲いています。

この花は、十年以上も前に板橋区から支給された株の一つです。いつの間にか消えてしまっただと思っていたのですが、ピンクの花を咲かせ、その存在を知らせてくれました。

見次公園の土は、残念ながらあまり肥沃ではありません。見次の会では土の改良に心がけていますが、なかなか難しい状況です。そんな中、一昔も前に植えた株が咲いたなんて！

地道に続けていくことの大切さを、教えてくれているのではないのでしょうか。
(静)